

出展のご案内

eドキュメントJAPAN 2012

50th画像情報マネジメントショー

2012.10.10wed-12fri 10:00-17:30

東京ビッグサイト 東展示ホール、会議棟

<http://www.e-document.jp/>

50th

業務改革と環境改善をリードする
統合文書情報マネジメント (ECM)

文書情報管理士 認定団体

■主催／社団法人 日本画像情報マネジメント協会

■共催／日経BP社

■後援／経済産業省、総務省、社団法人 日本経済団体連合会、社団法人 ビジネス機械・情報システム産業協会、
一般社団法人 日本経営協会、一般社団法人 電子情報技術産業協会、一般社団法人 日本記録メディア工業会、
財団法人 日本データ通信協会 (以上、申請予定)

■併催／eドキュメント フォーラム

■同時開催／ITpro EXPO 2012、スマートフォン&タブレット2012秋、Cloud Days Tokyo 2012秋、ビッグデータ EXPO 2012秋、
Security 2012、デジタルマーケティング EXPO 2012(仮)

ごあいさつ

東日本大震災では、掛け替えのない大切な多くの命が失われました。また、これまで築き上げたたくさんのもも失いました。そして、日本が誇る科学技術への信頼も揺らいでいます。加えて、円高やユーロ不安、タイの大洪水など、日本の経済も大きなダメージを受け、企業にとって合理化やコストダウンの必要性がますます増加しています。こうした混乱の中、復興に向け、試行錯誤を続けた1年でした。

今回のeドキュメントJAPAN 2012は50回目を迎えます。半世紀にわたり、常に最先端の文書情報にかかわるシステムやソリューションを多くの皆様に紹介してまいりましたが、今回はこれまで以上に災害に強く、環境にやさしい統合文書情報マネジメント (ECM) による情報の入力・保管・保存・配布・マネジメントのソフトウェアやソリューションによる業務の効率化、記録の完全さ、コストダウン、さらに今だからこそ伝えたいマイクロフィルムによる長期保存の大切さを、幅広い展示と併設のフォーラムで一人でも多くの方にお伝えできればと思います。

私たちが担う文書情報管理の分野では、情報を守ることの難しさと重要性を再認識し、それに対応できるシステムが求められています。是非、最新のソリューションを訴求いただく場として多くの企業・団体のご参加をお待ち申し上げます。



社団法人
日本画像情報マネジメント協会
理事長 高橋 通彦

開催概要

名称：eドキュメントJAPAN 2012 50th画像情報マネジメントショウ

会期：2012年10月10日(水)～12日(金) 10:00～17:30

主催：社団法人 日本画像情報マネジメント協会

共催：日経BP社

後援：経済産業省、総務省、社団法人 日本経済団体連合会、
社団法人 ビジネス機械・情報システム産業協会、一般社団法人 日本経営協会、
一般社団法人 電子情報技術産業協会、一般社団法人 日本記録メディア工業会、
財団法人 日本データ通信協会 (以上、申請予定)

会場：東京ビッグサイト 東ホール、会議棟

併催：eドキュメント フォーラム

来場者目標：17,000人

同時開催：ITpro EXPO 2012、スマートフォン&タブレット2012秋、Cloud Days Tokyo 2012秋、
ビッグデータ EXPO 2012秋、Security 2012、デジタルマーケティング EXPO 2012(仮)



出展対象製品・サービス

- 統合文書情報マネジメント (ECM)
- ドキュメントファイリングシステム
- マルチメディア・ネットワークシステム
- カラーイメージング
- デジタル・マイクロ・アーカイブシステム
- 電子帳票関連システム
- 記録メディア・大規模ストレージ
- OCR・イメージエンターシステム
- e-文書法関連システム・サービス
- イメージングハードウェア
- イメージングソフトウェア
- アウトソーシングサービス
- CAD関連システム
- 情報セキュリティシステム
- オンデマンドプリンティング関連
- デジタル複合機
- 情報倉庫関連
- デジタル書籍関連
- その他製品/サービス

■ デジタル・マイクロ・アーカイブ パビリオン
デジタル化文書を長期間にわたり安全に保存するため、マイクロメディアを利用した最新の方法をご紹介します。

セミナープログラム (eドキュメントフォーラム 概要)

「eドキュメントJAPAN 2012」ではドキュメントマネジメントのトレンドをいち早くお伝えし、来場者のビジネスに役立つ豊富なセミナープログラム「eドキュメントフォーラム」を予定しております。

基調講演・特別講演

日々刻々と変化するITとドキュメントマネジメントの分野の業界動向や、行政の動きなどにおける興味深い話題をとりあげ、これからのビジネスの指針になる講演をそれぞれの分野を代表される方を招き講演します。

テーマ／ナレッジトラック

実際にお仕事の上で必要になる文書情報に関する知識・技術を短時間で習得できるもので、分かりやすい内容を少人数で受講できるセミナーです。さまざまな立場の方をターゲットにした幅広いジャンルのセミナーを計画しています。



スポンサートラック

業界を代表する企業に、eドキュメントJAPANのテーマにふさわしい内容のソリューションを、自社の製品や業界の動き、ユーザーの活用事例紹介などを自由に講演していただくための時間です。毎年多くの来場者に好評をいただいている企画です。

来場者向けセミナーを設定し、受講者募集のお手伝いをいたします。

- 事前登録制
 - 会期終了後に受講者リストをお渡しします。
- ※ 協賛費等、詳細は事務局までお問い合わせください。



7展同時開催によりシナジー効果を実現

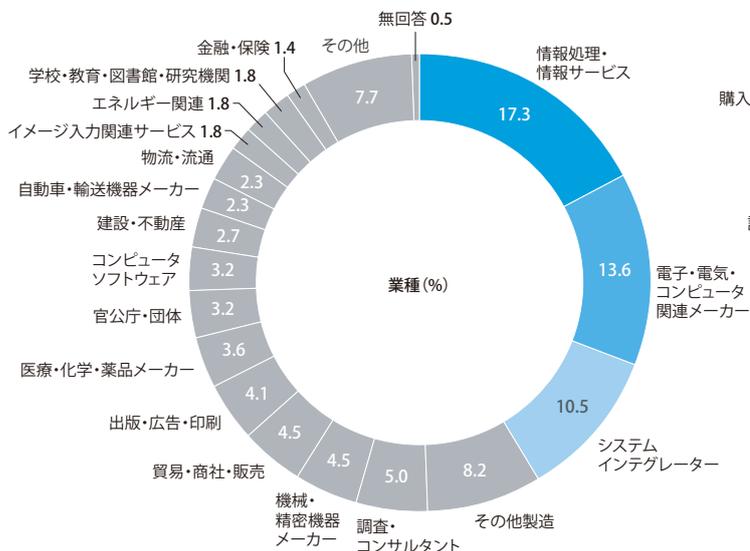
『eドキュメントJAPAN 2012』と同時に、日経BP社主催の『ITpro EXPO 2012』ほか同時開催6展を東展示ホールにて開催いたします。複合的なプロモーションの実施や、相互入場を可能にすることにより、シナジー効果を実現します。



来場者プロフィール (eドキュメントJAPAN 2011 来場者アンケートより)

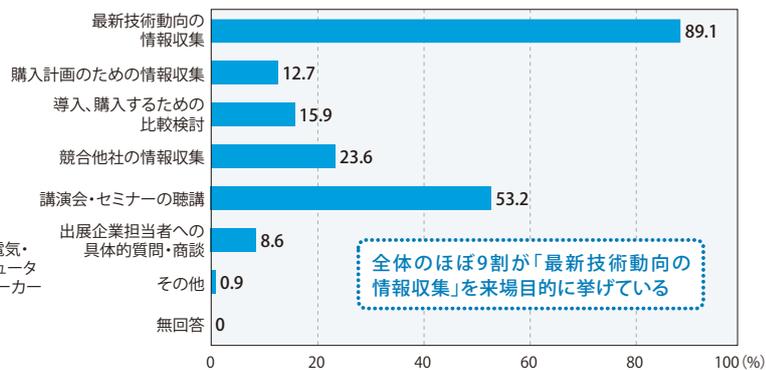
業種

「情報処理・情報サービス」(17.3%)がトップ、次いで「電子・電気・コンピュータ関連メーカー」(13.6%)、「システムインテグレーター」(10.5%)の順。



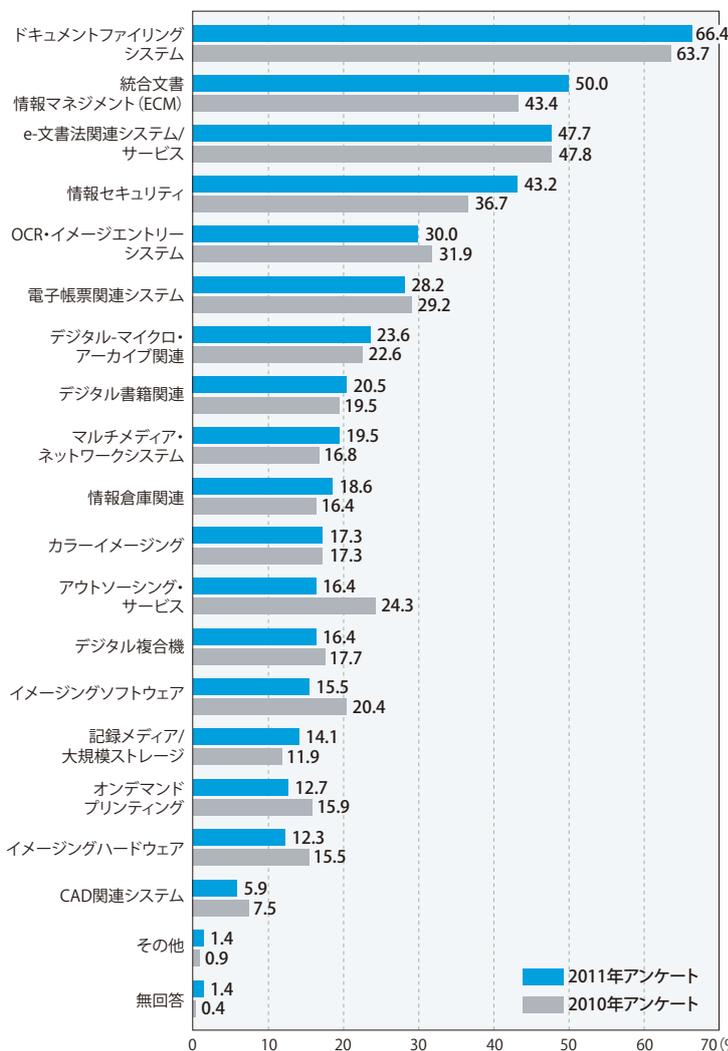
来場目的

「最新技術動向の情報収集」(89.1%)が最も多く、次いで、「講演会・セミナーの聴講」(53.2%)、「競合他社の情報収集」(23.6%)となっている。(複数回答)



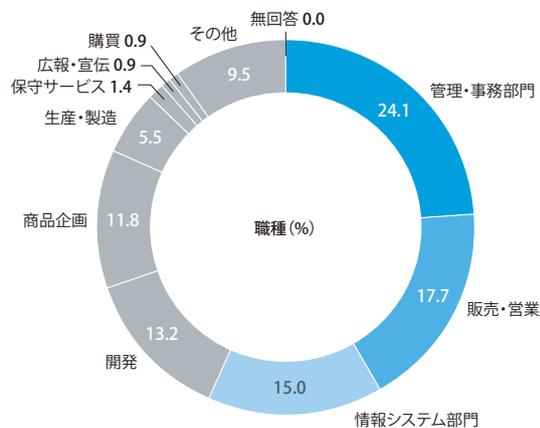
興味のある製品・サービス

「ドキュメントファイリングシステム」(66.4%)、「統合文書情報マネジメント (ECM)」(50.0%)、「e-文書法関連システム/サービス」(47.7%)が上位を占めた。(複数回答)



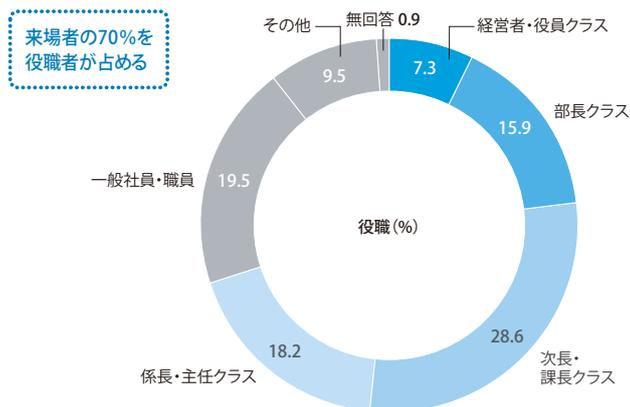
職種

「管理・事務部門」(24.1%)が最も多く、次いで「販売・営業」(17.7%)、「情報システム部門」(15.0%)となっている。



役職

「経営者・役員クラス」(7.3%)をはじめ、過半数の70.0%が役職者。



来場者プロモーション計画

[開催までのスケジュール(予定)]

2012年

6月20日

出展申込締切

7月18日

出展社説明会

9月上旬～

来場者向け公式WebサイトOPEN
雑誌広告
ダイレクトメール
Webサイト/eメール
(バナー広告・テキスト広告・e-DM・5行広告)

10月

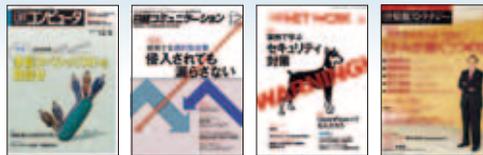
会期直前

新聞広告

10月10日～12日
開催

雑誌広告

日経BP社発行の専門誌を中心に来場促進の広告を掲載し、経営者層、技術者層へ広く告知を行います。



[日経BP社の専門誌] 日経コンピュータ、日経コミュニケーション、日経NETWORK、日経情報ストラテジー 他

ダイレクトメール

過去展示会来場者リスト、JIIMA会員リスト関連団体、文書情報管理士リストに加え、日経BP社専門誌読者から導入に決定権をもつ方を抽出し無料招待DMを送付します。また出展社にも、同様に無料招待DMを提供し貴社顧客の来場・商談へつなげます。主催者、出展社から合計で約15万通を送付し大規模動員を目指します。

Webサイト/eメール

JIIMAメルマガ登録ユーザー向け集客に加え、月間ユニーク・ブラウザ数が240万を超える「nikkei BPnet」やIT技術者を中心に同300万を超える「ITpro」ほか、日経BP社が運営するWebサイトのバナーやテキスト広告、e-DMやメールマガジンの5行広告などを用いて、幅広く集客いたします。

新聞広告

報道機関へのニュースリリース発送とともに、専門紙、業界紙等へ広告を掲載いたします。

eドキュメントJAPAN 2012 [50th画像情報マネジメントショー]

来場者向け公式サイト
9月上旬オープン予定



- ◎展示会の最新情報
- ◎展示会の事前登録
- ◎セミナーの事前登録

eドキュメントJAPAN 2011(前回開催)出展実績 (50音順)

ア行

- アンテナハウス
- インフォーマージュ
- エプソン販売
- 大久保
- オンザアイティ

カ行

- グローリー
- 国立公文書館
- 国立国会図書館

サ行

- ジェイ・アイ・エム
- システム・プランニング
- ジップインフォブリッジ
- ジムコ
- 住友電工情報システム
- セイコーインスツル
- セイコーエプソン
- 双光エシックス
- ソフトウェア・パートナー

ナ行

- ナカシャクリエイテブ
- ニチマイ
- 日本オラクル

ニ行

- 日本画像情報マネジメント協会
- 日本テクノ・ラボ
- NEXX

ハ行

- パイオニア
- ハイパーギア
- ハイパーセキュア
- ハイランドソフトウェア
- ハツコーエレクトロニクス
- パルステック工業
- ハンモック

フ行

- PFU
- ビクターアドバンスメディア
- 富士フイルム

マ行

- マイクロテック
- ムサシ・イメージ情報

ヤ行

- ユニバーサル・ビジネス・テクノロジー

ラ行

- リマージュジャパン

ワ行

- ワンビシアークイブズ

デジタル・マイクロ・アーカイブ パビリオン
協賛社一覧

機器メーカー

- ◆システム・プランニング
- ◆マイクロテック

利用機器メーカー

- ◆コニカミノルタビジネスソリューションズ

サービス会社(アウトソーシングサービス)

- ◆インフォーマージュ
- ◆金聖堂情報システム
- ◆国際マイクロ写真工業社
- ◆サンコー
- ◆新生マイクロ写真
- ◆ニチマイ
- ◆横浜マイクロシステム

ゲストプレゼンテーション

- ◆国立公文書館
- ◆国立国会図書館

出展募集要項

- 会 期 2012年10月10日(水)～12日(金)
10:00～17:30
- 小 間 規 格 1小間(間口3m×奥行3m)
- 出 展 料 金 **JIIMA会員 : 370,000円(消費税別)**
(1小間あたり)
一 般 : 440,000円(消費税別)
- 出展申込締切 2012年6月20日(水)
- お 申 込 方 法 別紙「展示会出展申込書」に必要事項をご記入の上、
事務局宛にFAXもしくはご郵送してください。
- 出展社説明会 2012年7月18日(水)

※出展料金はスペース代のみ。バックパネル等の基礎装飾は含まれません。
※4小間未満の小間装飾については、パッケージディスプレイをご用意しております。
※4小間以上でお申し込みの場合は、申込書に出展形状をご記入ください。ただし、ご希望に沿えない場合がございます。あらかじめご了承ください。

◎小間位置の決定

- ※ 出展申し込み締め切り日(2012年6月20日)までに事務局が出展申込書を受理した出展社を対象に小間位置を決定します。
- ※ 申し込み締め切り日以降のお申し込みについては、事前に事務局にご連絡ください。
- ※ 出展小間位置は、申込日/出展規模/出展実績/出展内容などを考慮のうえ事務局が決定し、出展社説明会(2012年7月18日)で発表いたします。

◎出展申し込み解約について

- ※ 出展社が出展申し込み後に申し込み小間の全てあるいは一部を解約する場合は、必ず書面にて行わなければなりません。その際、展示会出展契約規約(出展申込書裏面をご参照ください)に基づき、所定の解約料を申し受けます。
- ※ 出展申込書を主催者が受理した日をもって出展契約日とし、解約料については、出展契約日から2012年6月20日までは出展申し込み小間料金全額の30%、2012年6月21日以降は出展申し込み小間料金全額といたします(消費税別)。

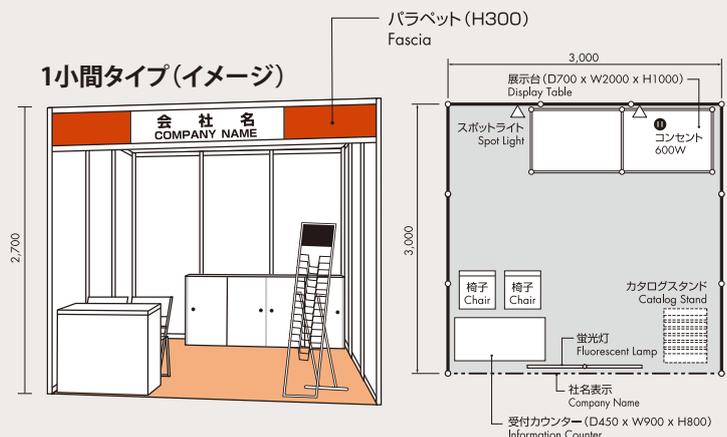
■ レンタルパッケージディスプレイプラン(オプション)

リーズナブルなディスプレイプランを用意しております。

(出展料金別途)

- [1小間タイプ] **110,000円**
- [2小間タイプ] **200,000円**
- [3小間タイプ] **280,000円**

詳細は事務局までお問い合わせください。(消費税別)



[公式Webサイト] <http://www.e-document.jp/>

社団法人 日本画像情報マネジメント協会 (JIIMA)

〒101-0032 東京都千代田区岩本町2-1-3 和光ビル7階

TEL:03-5821-7351 FAX:03-5821-7354 E-mail:e-document@jiima.or.jp

日経BP社 eドキュメントJAPAN 事務局

〒108-8646 東京都港区白金1-17-3 NBFプラチナタワー

TEL:03-6811-8083 FAX:03-5421-9170 E-mail:e-doc@nikkeibp.co.jp